

## 2017年度 事業報告書より（抜粋）

### 【高校生向け夏季企画展・関連イベントスタート】

新たな試みとして、若い世代に文学館を通じて文学との出会いを持ってもらうために、夏休み期間に開催する夏季企画展では高校国語教科書に採用されている近代文学作品を取り上げ、また関連企画として教職員向けセミナーを行った。例年行っている講演会「夏の文学教室」への高校生招待と併せて大変好評を博し、2018年度も第二弾として「中島敦『山月記』とその時代」展を開催中(8月25日土曜日まで)。

### 夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学—芥川龍之介『羅生門』とその時代」展

6月24日～9月16日（59日間、2,300人） 編集委員：紅野謙介、庄司達也

7月1日、教職員向けセミナー「『教室』と『文学』をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして」（参加27名）

8月11日、「音楽で出会う芥川龍之介—蓄音機とSPレコードで聴く」（解説：庄司達也、参加57名）

### 【資料収集】

所蔵資料総点数 1,178,438点

	特別資料	図書	雑誌	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	5,620点	3,298冊	10,037冊	0枚	0点	2件
累計	91,641点	487,296冊	593,863冊	5,423枚	215点	65件10,680点

### 【閲覧等サービス】 [ ]内は前年数

閲覧 閲覧日数 234日[232日] 閲覧者数 1,495人[1,643人]

資料複写サービス 1,368件31,288枚（うち学割は232件5,630枚）  
[1,522件39,647枚（うち学割は272件6,981枚）]

資料写真サービス 422件2,435枚[468件2,169枚]

レファレンスサービス 342件[599件]

成田分館 開館日数24日[23日]、展示来観者4人[19人]、閲覧者0人[6人]

### 【展覧会】

#### ① 春季展示「新資料から見る谷崎潤一郎—創作ノート、日記を中心にして」展

4月1日～6月10日（49日間、1,957人） 編集委員：紅野謙介、千葉俊二

3月31日、内覧会。主催者挨拶：紅野謙介、来賓挨拶：中央公論新社 関知良氏  
展示解説：千葉俊二、出席者59人

5月3日、記念対談「谷崎潤一郎—デンジャラスな作家」（講師：桐野夏生、千葉俊二。来聴者88名）

6月9日、トークイベント「複製版に見る谷崎本の世界」（講師：倉和男、来聴者23名）

川端康成記念室＝「川端康成が見出した作家たち」

#### ② 秋季展示「漱石、芥川、太宰から現代作家まで—近代文学、再発見！」展

9月23日～11月25日（44日間、2,455人） 編集委員：安藤宏

9月22日、内覧会。主催者挨拶：中島国彦、展示解説：安藤宏、出席者47人

川端康成記念室＝「川端文学の名作Ⅰ」

#### ③ 冬季企画展「小説は書き直される—創作のバックヤード」展

12月2日～2018年2月10日（45日間、1,070人） 編集委員：安藤宏

1月6日、トークイベント開催（講師：安藤宏、来聴者52名）

#### ④ 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」 『震災を書く』

同時開催 「加藤楸邨 詠むことと書くこと」 編集委員：紅野謙介

2月20日～3月24日（23日間、612人）

### 【講座・講演会】

#### ○ 文学館へ行こう！（文学館を知りたい方へ—利用案内講座） （参加者 計95名）

4月15日、5月5日、11月3日 講師：中島国彦 9月30日 講師：紅野謙介

#### ○ 資料は語る 2017年度＜作家からの手紙＞ （受講者 計164名）

- 4月15日 千葉俊二：谷崎潤一郎の恋文
- 5月20日 江種満子：アメリカ留学とヨーロッパ旅行—有島武郎から家族へ、マティルデ・ヘックへ
- 6月10日 竹内栄美子：戦地からの絵だより—高見順から妻・秋子へ
- 9月16日 長島裕子：愉快と不愉快と淋しさと—漱石の若き友人たちに宛てた手紙
- 10月21日 久米依子：フィチンさんの引き揚げ体験スケッチ—上田としこから佐多稲子へ
- 11月18日 宗像和重：作家の年賀状—日本近代文学館コレクションから

#### ○ 声のライブラリー 自作朗読と座談会 （参加者 計255名）

第89回 5月13日 朗読：平田俊子、川上未映子 司会：伊藤比呂美

第90回 9月9日 朗読：梯久美子、石田千 司会：佐藤洋二郎

第91回 11月11日 朗読：高橋睦郎、恩田侑布子 司会：伊藤比呂美

第92回 2月10日 朗読：貞久秀紀、滝口悠生 司会：小池昌代

\* 『文豪の朗読』（朝日選書 朝日新聞出版2月25日刊行）に、新聞掲載計8回分を収録。

#### ○ 第54回 夏の文学教室 「大正という時間—文学から読む」 （聴講者 計3,894人）

（読売新聞社後援、7月31日～8月5日、有楽町・よみうりホール）

講師：長野まゆみ、川本三郎、島田雅彦、赤坂真理、荒川洋治、阿刀田高、絲山秋子、坪内祐三、浅田次郎、黒川創、鹿島茂、堀江敏幸、平田オリザ、藤沢周、萩原朔美、伊藤比呂美、滝口悠生、高橋源一郎

#### ○ 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理（8月22日～26日） 参加者：29大学ほか41名

講師：安藤宏、池内輝雄、紅野謙介、坂上弘、東郷克美、十重田裕一、十川信介、中島国彦、日高昭二、宮内淳子、宗像和重、和田博文、事務局職員

#### ○ 文学館職員研修講座（1月24日～26日） 参加：8館8名

### 【刊行物】

所蔵資料目録第33集『太宰治文庫目録 増補改訂版』4月20日刊行

紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第13号 2018年3月20日刊行